

MIRAI REPORT

ISSUE. 003

- ◆アウトドアガイドWEB講演会：「コロナは敵なのか」
- ◆I活<AI勝>攻めのIT 業務の在り方を変えるオンライン化の波
- ◆根釧管内の動向：TOPICS
- ◆根釧の経済概況（令和2年1~3月期）

アウトドアガイド WEB 講演会

「コロナは敵なのか」・・・プロガイドの危機管理

～コロナ後の経営・身の振り方につながる大きな気づきとは～

新型コロナウイルス感染が拡大を続け、国内にとどまらず世界の経済活動に大きな負の影を落としています。あらゆる企業・事業者の方が影響を受けており、とりわけ観光に携わる多くのアウトドアガイドの方々が大きな難局に直面しています。この難局に立ち向かい乗り越えるためにプロガイドとしての心構え、コロナに負けない、景気低迷に負けない経営を学ぶ講演会を実施いたしました。本講演の内容を一部抜粋して紹介します。

◆日程：令和2年5月12日（火）18：30～20：00 WEB を利用し参加者との意見交換を合わせて実施

◆講師：安藤 誠氏 ◆参加者：68名



【講師紹介】

安藤 誠氏

北海道知事認定 アウトドアマスターガイド
ウィルダネスロッジ・ヒッコリーウィンド代表

世代を超えた出会いと感動を提供するこだわりの宿「ヒッコリーウィンド」を営みながら、プロカメラマンやネイチャーガイドとしても活動。ガイドの傍ら講演活動を通して自然環境が果たす「人間と自然への役割」をさまざまな角度から伝えている。

< 開催経緯と講演について >

新型コロナウイルスによる影響を受けている今だからこそ伝えるべきことを伝え、今回の講演を参加者の方がアクションする一つのきっかけにしたい。

水は触らないとぬるいか冷たいかわからない。それと同じでネイチャーガイドの立場でテレビや新聞、インターネットに記載される情報とは全く違う、私自身が自然と対峙してきて考えた今後ガイド業はどうか、観光はどうかを話していきたい。

いわゆるマイナスの話（大変だという話）ではなく、大変さを超えるような、元気がでたり希望が持てる、そんな考え方があるんだと思ってもらえるような講演にしたい。

< 講演のキーワード：「喜捨」 >

禅の言葉の一つに「喜捨」、喜んで捨てるという言葉がある。お世話したり、親切にしたことは全部忘れて、見返りをもとめないという意味。

例えば、何かの損得で動くのではなく、本当に必要な人たちの力になりたいと純粋な気持ちで自分ができることを行うことが世間を良くするという。本講演もその思いで開催している。不満をいうのではなく、気持ちを循環させるいい方向に考える流れを作るきっかけにしたい。

< コロナは敵なのか >

世論では82%以上の方がコロナはマイナスの出来事として捉えているという報道もある。プラスにとれるかというと誤解を招いたりすると思うが、ネイチャーガイド

の立場からはっきりいうと自然や環境にとっては、今まで数百年なかったような喜びである。空気はきれいになり、水はきれいになり、今まで一番ないがしろにされてきた自然が一番諸手を挙げて喜んでいて。自然界からしたら私たちがウイルスでコロナがワクチンです。

一方で自然は喜んでいて人間は困っている。困っているからこれから何か対策をして解決して良くなっていく、という話ではない。私たちが経験したことの無い世界に出ていかなければならないと認識していただきたい。元の世界に戻ることはないと思う。

観光・飲食業は大打撃を受けている。3か月無収入、経費もかかる、しかし今はチャンスだと思っている。それはなぜか、本物もしくは

しっかりとした誠意があるものしか生き残っていきなくなるから。どうしても忘れられないような商売をやっている人たちは生き残っていく。

一生懸命考えている人は行動できる。事例として奥尻島で宿を運営している方のケースを紹介したい。家にいてもできることとしてひたすら山菜をとって自分の顧客に送って頑張っているよと伝えている。素晴らしい、今だからこそできる取り組み。

コロナの影響は収まらないかもしれないけど、経済活動をするためには移動の制限は解除されていくはず。その時に来てもらえればいいというプライドがあればいい。

中途半端なことをやっていた人たちはコロナによっていかに自分が中途半端が暴露されるだけ。コロナが悪いわけではなく、いろんなことに備えてなかっただけ。ガイドは「備えを常に」、先を見てお客さまの安全を確保することが腕のみせどころ。自然を相手にしている僕らは一番コロナでうろたえちゃいけない。

<今後の見通しについて>

旅行会社には9月に海外が難しいのであれば国内・北海道を海外に見立ててツアーを組み立てましょうという動きがある。インバウンドは回復が遅い見込みだが、ヒッコリーではヨーロッパやアメリカの富裕層から来年の1, 2月の予約が来ている。普段も予約のメールはうれしいが、この状況下でリスクがあるにもかかわらず、現地の力になりたい、かつて利用した旅館やガイドを助けたいとの思いの人がたくさんいる。これは同業者の方には聞いておいてほしい、信じてほしい。

<これからのコロナ後にどのような立ち回る必要があるのか>

移動の制限が今後ゆるくなった場合、少数のガイディングは間違いなく可能になる。

この地域は究極のソーシャルディスタンス。人がいないから。道東の人たちは頭に入れてください。これは強みです。僕らは一番早く回復する権利、条件を持っている。今日これをマスターガイドとして言いたかった。道東こそ立ち上がりのモデルケースになる。

私たちには今までにないチャンスが来ている。マニアしか行かない道東が、海外に行けない人が日本でどこが海外のような地域かと考えると道東に来るチャンスは大いにある。

だからこそ、来た時にまたリピートしたいと思わせること、クオリティの高いサービスやメニューを準備することが重要。

そのためにまずは、すごく良いプロモーションをつくること。特に動画や写真、本当の体験談、哲学や歴史、ストーリー等、いわゆる人の知的好奇心を揺さぶるような要素を取り入れて、これでもかというものを作ってほしい。

そこには自分の経験と哲学（難しければ自分らしさ）を盛り込んでほしい。

<事例から学ぶ備えるポイント>

私のほうで道東の具体的なガイドの戦略を考えたときに現在のアラスカやカナダの事例を調べた。自然にみんな癒されたくて殺到した結果、登山口とか国立公園が閉鎖にいたっているケースが多い。事前に行政等がコントロールして車の台数制限をするなどの対策をとればよい。桜を愛でることすら禁止した東京と同様に、北海道も登

山等ができなくなるかもしれない、私たちは先手を打つ必要がある。SNSでどこに行ってきたとかを上げるのは自由だが、上げ方に気を付けないと我慢している人は10人いたら10人の捉え方が違う。SNSで僕は私はこんないい経験していると上げると誰が見ているかわからない。俺はこんなに我慢しているのに...となることがある。

自分の楽しみで行くならSNSに上げる必要がない、もしくは場所をわからなくする必要がある。Aさんの自粛とBさんの自粛は違う。その中では北海道が何日まで動かないでというのがひとつのベンチマークになる。ベンチマークとして従う必要がある。

<今こそ自分自身と向き合うチャンス>

座禅の座は人が二人に土と書く。この二人の人は、一人は今を生きている一人、もう一人は禅の世界では本来の自分。本来の自分と向き合うことを瞑想・座禅と表現する。コロナだからこそ本来の自分と向き合う時間を作ることができる。

ほとんどの答えはみなさん自身が持っている。迷った時には、もう一人の自分に向き合うことが大切。

例えば、神の子池は自分が迷った時に一人で立つと自分の心が見えると言われた。そこで自分を写し出した時に自分はヒッコリーウインドをやると決めることができた。そして北海道は、自分と向き合うことのできる場所があることを、日本・海外に発信できる特別な土地である。その土地でガイドしているということは、とても素晴らしいことだ。

<情報収集に関する話>

観光関連の方や個人でガイド業を

営む方は普段あまり銀行やお金の話をしない。自分自身もガイド業始めるまでは銀行になんか絶対に行かないと思っていた時期もあったが、今は連携した事業も実施している。

お金に関してはチャンスがきている。コロナ対策の対応資金（給付や利子補給、据え置き等）や自治体による様々な支援制度の創設によって、融資や給付を受けやすい状況になっている。金融機関にはそのような情報が集まっている。

損とか得の話ではなく、事業を今後も継続するうえで重要であるということを伝えたい。コロナを機に辞める人は少ないと思うから。財布の中に百万円が入っているのと入っていないのでは全然違う。それを単純に使ってはだめですが、あるだけで精神的な追い詰められ方が違う。いろんな設備の入れ替え等も今だからできる。まず一度用事がなくても、この講演を金融機関と接する一つのきっかけにして、金融機関に情報収集に行ってほしい。

ここで数字のからくりだけは聞いておいてほしい。

例えば、ニュースでは5月3日の時点で感染者が91人、4日時点で87人、5日時点で58人と伝える。実際にその数字を見ると、

検査数399人のうち91人、検査数219人のうち87人、検査数109人のうち58人となっている。

テレビ・新聞では数字だけを見るとそのまま真に受けてしまう。情報には裏がある。情報の取り方に気を付けないと体に良くないものを摂取するのと一緒に心を乱す。

< 講演のキーワード：「平常心」 >

剣道で最もよく使われている言葉の一つに「平常心」がある。一般的な平常心ではなく、「心の振れ幅を小さくする」という平常心。また、「本来の（もうひとりの）自分と向き合い、謙虚になる」という平常心。テレビや新聞は心を揺さぶるのが商売。「平常心」を持ち、情報に揺さぶられることなく、良いことも悪いことも引きずらないというのが、大切である。

< 認識している課題 >

○道東の括りについて
皆さまも経験したと思いますが、ブラックアウトになったときにすべてキャンセルになった。あの時もそうだが、札幌とかだけで発生しても北海道全体と一緒にされている。もっと道東の帯広や釧路など道東と道南、道央や道北などのエリアの括りをしっかりと分けないと札幌イコール北海道はいろんな意味で心外。それぞれ違うことを日本のメディアにも認識されて

いない。今後の課題として道東という括りをしっかりと持たなければならぬと思う。

○人をつなぐ

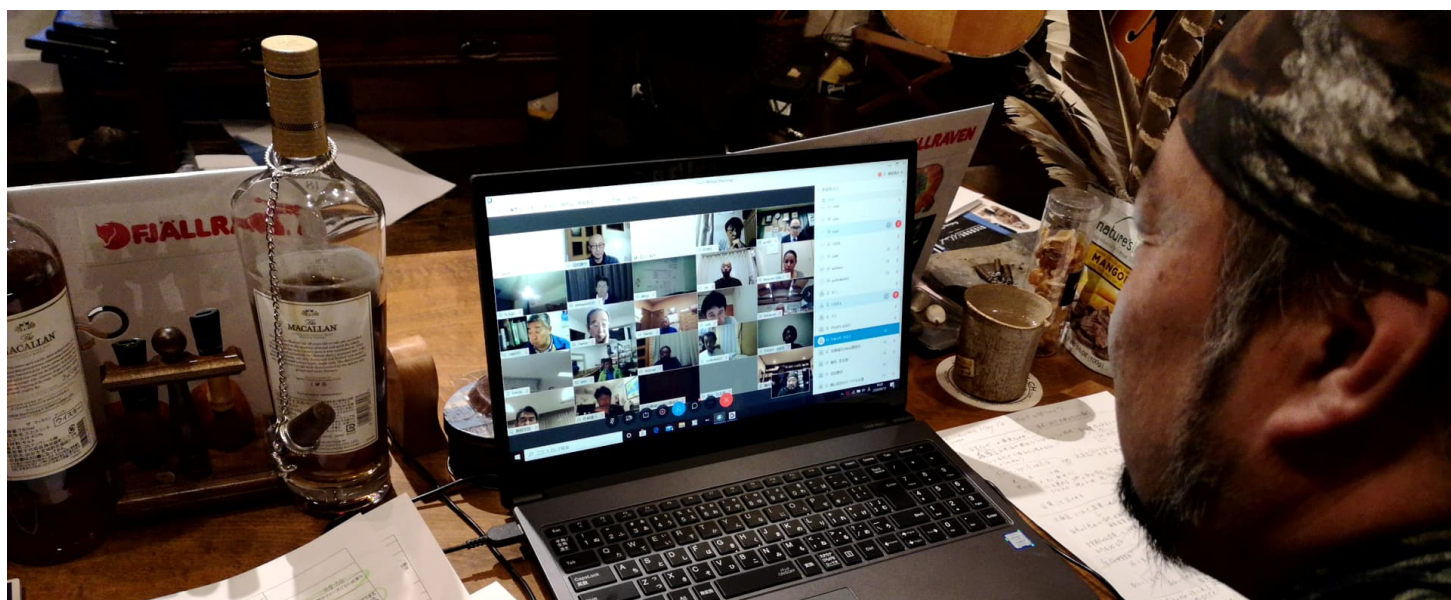
一人一人のマンパワーが道東の最大の魅力。ちっちゃいけど会社や企業に負けない仕事をする、そんなガイドがたくさんいる。ガイドや自治体等の地域の関係者が一人一人を理解して、適材適所、つないでいくことが重要。

○備えに対するバックアップ

個人のためではなく、地域のためにやる。恩を売るのではなく、好意の循環が地域を良くする。地域として良いプロモーションを作り上げるためには自治体によるバックアップが必要。コンテストの開催など今だからこそできる支援をしていただきたい。

< まとめ >

ガイドは窮地や危機こそ本当のガイドのスキルが試される。自然災害や予測しない事態が発生したとき、ピンチの状況こそが他と差別化できる本当のいい仕事をみんなに見せることができる最大の見せ場と捉える。それこそがやりがいであり、私はそのように考えている。皆さまにもそのように感じてもらいたい。





参加者のお言葉

●釧路管内 / 観光関係

今回お話いただいた内容に同感。私が気にかけているのはこの2年間をどう金策するか、その後どうコロナと付き合うか。つい昨日の話、6月下旬に予約している人から電話がきて「行っていいですか」という確認や、「今回はキャンセルさせてもらうが宿泊代金はとってほしい。来年など好きな時に行きたいからお金は先に払わせてほしい」といった声をいただいている。

私たちはコロナ対策をしているのでちゃんと来てくださいというメッセージを届ける必要がある。そしてこの2年間にいかにお客様に感動体験をしていただけるように準備するか、あそこに絶対行きたいと思わせることが重要。

本物をいかに作り上げ、発信するかが大切（データに基づいた魅力の根拠、SDGs等の持続可能な社会や観光とのリンクさせながら）

●釧路管内 / 観光関係

ヘビーリピーターに支えられている道東地区、その方々が真っ先に行けるようになるタイミングで来てくれる。日頃のお付き合いをしてくれる人たちにアプローチするべきだと考えている。もうひとつはWITHコロナ。自然美・哲学を含んだ旅のアプローチの話があったがまさしく、自然と歴史・文化（アイヌ文化を含む）等、東北道ならではの発信ができると思う。アフターコロナの話があるが、どこまでいっても、どのようにコロナと共存するか、それしかない。「すすきの」のような北海道の最大の集客力を誇ってきた札幌の夜の構造が崩れかけてきている。ある意味自然に寄り添った北海道本来のスタイルが展開できるタイミングになった。

●十勝管内 / 観光関係

非常に元気がでた。最近の自分が嬉しかった話をする、お客様がほぼゼロになったが地域の農家の方々が経営を心配してくれて、今、社員は農家のお手伝いに行っている。地域にとって必要な会社だと思ってくれていたことが伝わった。そういう関係を築けたことに勇気をもらった。

さらに付加価値の高い体験ができるものを作ろうと社員で今話し合いをしている。今年だけなら耐えられるけど来年も感染が広がったらどうしようという思いもあるが、緩和されたときにあきらめずに取り組みたい。

●釧路管内 / 行政

行政の場合はこの大変な状況の中でどう対応するのかを第一に考える。やはりビジネスとか現実の世界では、まさしく本物が残っていく、残ったものが強いという形になる。

ベストなプロモーションが重要ということでコンテストの開催など大変良い言葉をいただいた。そういったことを進めていくことで東北道の強みをどんどん発信していく。また、それぞれの自治体の中でこういった活動をしている人たちをしっかりと認識しながら一緒にやっていくのが重要だと考えている。

●檜山管内 / 観光関係

今奥尻の現状として、全員顔見知りなので、知らない人が来るだけでざわざわする小さいコミュニティや島の独特の雰囲気がある。島の人間としてどうすればよいのか、「究極のソーシャルディスタンス」に勇気をもらった。

一方で、島の立地だと島の外から人が来ること自体が嫌だと思われる時にどう考えていけばよいのか。

（安藤氏からの回答）ビジネスを島でやっていくのであれば、自分の地域に自身のビジネスが愛されなければならない。自身が島に来たことで島の人々が感謝してくれるような情報提供等を行うことが大切。狭い社会で理解してもらうためにはぶつかっていくしかない。

～地域の事業者を支援する主な制度（参考）～

※文字が小さい場合や最新の情報は右のQRコードからご確認ください



道内事業者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援の一覧

給付金等	道からの要請で休業した <small>※ 期間によって休業要請の対象施設、区域が異なりますので、ご注意ください。</small>	休業協力・感染リスク低減支援金 道からの要請で おおそくとも 4月25日～5月15日までの期間を継続して休業または酒類の提供時間を短縮し、感染リスクを低減する自主的な取組を行う事業者に対して支援金を支給します。 法人：30万円、個人事業者：20万円 19時以降の酒類の提供を自粛した飲食店：10万円	北海道休業協力・感染リスク低減支援金 お問い合わせセンター ☎ 011-351-6469
	売上が減少した	経営持続化臨時特別支援金（支援金A） 「新北海道スタイル」安心宣言の取組を実施するとともに、道からの要請でおおそくとも5月19日～5月31日（一部の施設は5月24日）までの期間を継続して休業または酒類の提供時間を短縮した事業者に対して10万円を支給します。	北海道経営持続化臨時特別支援金お問い合わせセンター ☎ 011-350-7262
		経営持続化臨時特別支援金（支援金B） 「新北海道スタイル」安心宣言の取組を実施するとともに、休業要請の対象外であって、長期間の外出自粛や自主的な休業等により、ひと月の売上が前年同月比で50%以上減少した事業者の方に対して5万円を支給します。 ※令和2年1月から3月末までに開業した方について特例あり	持続化給付金事業コールセンター ☎ 0120-115-570 持続化給付金サポート窓口 ※申請に関する情報提供、サポート 北海道庁中小企業課または各（総合）振興局商工労働課光臨 ☎ 117 ☎ 118 ☎ 119 ☎ 120 ☎ 121 ☎ 122 ☎ 123 ☎ 124 ☎ 125 ☎ 126 ☎ 127 ☎ 128 ☎ 129 ☎ 130 ☎ 131 ☎ 132 ☎ 133 ☎ 134 ☎ 135 ☎ 136 ☎ 137 ☎ 138 ☎ 139 ☎ 140 ☎ 141 ☎ 142 ☎ 143 ☎ 144 ☎ 145 ☎ 146 ☎ 147 ☎ 148 ☎ 149 ☎ 150 ☎ 151 ☎ 152 ☎ 153 ☎ 154 ☎ 155 ☎ 156 ☎ 157 ☎ 158 ☎ 159 ☎ 160 ☎ 161 ☎ 162 ☎ 163 ☎ 164 ☎ 165 ☎ 166 ☎ 167 ☎ 168 ☎ 169 ☎ 170 ☎ 171 ☎ 172 ☎ 173 ☎ 174 ☎ 175 ☎ 176 ☎ 177 ☎ 178 ☎ 179 ☎ 180 ☎ 181 ☎ 182 ☎ 183 ☎ 184 ☎ 185 ☎ 186 ☎ 187 ☎ 188 ☎ 189 ☎ 190 ☎ 191 ☎ 192 ☎ 193 ☎ 194 ☎ 195 ☎ 196 ☎ 197 ☎ 198 ☎ 199 ☎ 200 ☎ 201 ☎ 202 ☎ 203 ☎ 204 ☎ 205 ☎ 206 ☎ 207 ☎ 208 ☎ 209 ☎ 210 ☎ 211 ☎ 212 ☎ 213 ☎ 214 ☎ 215 ☎ 216 ☎ 217 ☎ 218 ☎ 219 ☎ 220 ☎ 221 ☎ 222 ☎ 223 ☎ 224 ☎ 225 ☎ 226 ☎ 227 ☎ 228 ☎ 229 ☎ 230 ☎ 231 ☎ 232 ☎ 233 ☎ 234 ☎ 235 ☎ 236 ☎ 237 ☎ 238 ☎ 239 ☎ 240 ☎ 241 ☎ 242 ☎ 243 ☎ 244 ☎ 245 ☎ 246 ☎ 247 ☎ 248 ☎ 249 ☎ 250 ☎ 251 ☎ 252 ☎ 253 ☎ 254 ☎ 255 ☎ 256 ☎ 257 ☎ 258 ☎ 259 ☎ 260 ☎ 261 ☎ 262 ☎ 263 ☎ 264 ☎ 265 ☎ 266 ☎ 267 ☎ 268 ☎ 269 ☎ 270 ☎ 271 ☎ 272 ☎ 273 ☎ 274 ☎ 275 ☎ 276 ☎ 277 ☎ 278 ☎ 279 ☎ 280 ☎ 281 ☎ 282 ☎ 283 ☎ 284 ☎ 285 ☎ 286 ☎ 287 ☎ 288 ☎ 289 ☎ 290 ☎ 291 ☎ 292 ☎ 293 ☎ 294 ☎ 295 ☎ 296 ☎ 297 ☎ 298 ☎ 299 ☎ 300 ☎ 301 ☎ 302 ☎ 303 ☎ 304 ☎ 305 ☎ 306 ☎ 307 ☎ 308 ☎ 309 ☎ 310 ☎ 311 ☎ 312 ☎ 313 ☎ 314 ☎ 315 ☎ 316 ☎ 317 ☎ 318 ☎ 319 ☎ 320 ☎ 321 ☎ 322 ☎ 323 ☎ 324 ☎ 325 ☎ 326 ☎ 327 ☎ 328 ☎ 329 ☎ 330 ☎ 331 ☎ 332 ☎ 333 ☎ 334 ☎ 335 ☎ 336 ☎ 337 ☎ 338 ☎ 339 ☎ 340 ☎ 341 ☎ 342 ☎ 343 ☎ 344 ☎ 345 ☎ 346 ☎ 347 ☎ 348 ☎ 349 ☎ 350 ☎ 351 ☎ 352 ☎ 353 ☎ 354 ☎ 355 ☎ 356 ☎ 357 ☎ 358 ☎ 359 ☎ 360 ☎ 361 ☎ 362 ☎ 363 ☎ 364 ☎ 365 ☎ 366 ☎ 367 ☎ 368 ☎ 369 ☎ 370 ☎ 371 ☎ 372 ☎ 373 ☎ 374 ☎ 375 ☎ 376 ☎ 377 ☎ 378 ☎ 379 ☎ 380 ☎ 381 ☎ 382 ☎ 383 ☎ 384 ☎ 385 ☎ 386 ☎ 387 ☎ 388 ☎ 389 ☎ 390 ☎ 391 ☎ 392 ☎ 393 ☎ 394 ☎ 395 ☎ 396 ☎ 397 ☎ 398 ☎ 399 ☎ 400 ☎ 401 ☎ 402 ☎ 403 ☎ 404 ☎ 405 ☎ 406 ☎ 407 ☎ 408 ☎ 409 ☎ 410 ☎ 411 ☎ 412 ☎ 413 ☎ 414 ☎ 415 ☎ 416 ☎ 417 ☎ 418 ☎ 419 ☎ 420 ☎ 421 ☎ 422 ☎ 423 ☎ 424 ☎ 425 ☎ 426 ☎ 427 ☎ 428 ☎ 429 ☎ 430 ☎ 431 ☎ 432 ☎ 433 ☎ 434 ☎ 435 ☎ 436 ☎ 437 ☎ 438 ☎ 439 ☎ 440 ☎ 441 ☎ 442 ☎ 443 ☎ 444 ☎ 445 ☎ 446 ☎ 447 ☎ 448 ☎ 449 ☎ 450 ☎ 451 ☎ 452 ☎ 453 ☎ 454 ☎ 455 ☎ 456 ☎ 457 ☎ 458 ☎ 459 ☎ 460 ☎ 461 ☎ 462 ☎ 463 ☎ 464 ☎ 465 ☎ 466 ☎ 467 ☎ 468 ☎ 469 ☎ 470 ☎ 471 ☎ 472 ☎ 473 ☎ 474 ☎ 475 ☎ 476 ☎ 477 ☎ 478 ☎ 479 ☎ 480 ☎ 481 ☎ 482 ☎ 483 ☎ 484 ☎ 485 ☎ 486 ☎ 487 ☎ 488 ☎ 489 ☎ 490 ☎ 491 ☎ 492 ☎ 493 ☎ 494 ☎ 495 ☎ 496 ☎ 497 ☎ 498 ☎ 499 ☎ 500 ☎ 501 ☎ 502 ☎ 503 ☎ 504 ☎ 505 ☎ 506 ☎ 507 ☎ 508 ☎ 509 ☎ 510 ☎ 511 ☎ 512 ☎ 513 ☎ 514 ☎ 515 ☎ 516 ☎ 517 ☎ 518 ☎ 519 ☎ 520 ☎ 521 ☎ 522 ☎ 523 ☎ 524 ☎ 525 ☎ 526 ☎ 527 ☎ 528 ☎ 529 ☎ 530 ☎ 531 ☎ 532 ☎ 533 ☎ 534 ☎ 535 ☎ 536 ☎ 537 ☎ 538 ☎ 539 ☎ 540 ☎ 541 ☎ 542 ☎ 543 ☎ 544 ☎ 545 ☎ 546 ☎ 547 ☎ 548 ☎ 549 ☎ 550 ☎ 551 ☎ 552 ☎ 553 ☎ 554 ☎ 555 ☎ 556 ☎ 557 ☎ 558 ☎ 559 ☎ 560 ☎ 561 ☎ 562 ☎ 563 ☎ 564 ☎ 565 ☎ 566 ☎ 567 ☎ 568 ☎ 569 ☎ 570 ☎ 571 ☎ 572 ☎ 573 ☎ 574 ☎ 575 ☎ 576 ☎ 577 ☎ 578 ☎ 579 ☎ 580 ☎ 581 ☎ 582 ☎ 583 ☎ 584 ☎ 585 ☎ 586 ☎ 587 ☎ 588 ☎ 589 ☎ 590 ☎ 591 ☎ 592 ☎ 593 ☎ 594 ☎ 595 ☎ 596 ☎ 597 ☎ 598 ☎ 599 ☎ 600 ☎ 601 ☎ 602 ☎ 603 ☎ 604 ☎ 605 ☎ 606 ☎ 607 ☎ 608 ☎ 609 ☎ 610 ☎ 611 ☎ 612 ☎ 613 ☎ 614 ☎ 615 ☎ 616 ☎ 617 ☎ 618 ☎ 619 ☎ 620 ☎ 621 ☎ 622 ☎ 623 ☎ 624 ☎ 625 ☎ 626 ☎ 627 ☎ 628 ☎ 629 ☎ 630 ☎ 631 ☎ 632 ☎ 633 ☎ 634 ☎ 635 ☎ 636 ☎ 637 ☎ 638 ☎ 639 ☎ 640 ☎ 641 ☎ 642 ☎ 643 ☎ 644 ☎ 645 ☎ 646 ☎ 647 ☎ 648 ☎ 649 ☎ 650 ☎ 651 ☎ 652 ☎ 653 ☎ 654 ☎ 655 ☎ 656 ☎ 657 ☎ 658 ☎ 659 ☎ 660 ☎ 661 ☎ 662 ☎ 663 ☎ 664 ☎ 665 ☎ 666 ☎ 667 ☎ 668 ☎ 669 ☎ 670 ☎ 671 ☎ 672 ☎ 673 ☎ 674 ☎ 675 ☎ 676 ☎ 677 ☎ 678 ☎ 679 ☎ 680 ☎ 681 ☎ 682 ☎ 683 ☎ 684 ☎ 685 ☎ 686 ☎ 687 ☎ 688 ☎ 689 ☎ 690 ☎ 691 ☎ 692 ☎ 693 ☎ 694 ☎ 695 ☎ 696 ☎ 697 ☎ 698 ☎ 699 ☎ 700 ☎ 701 ☎ 702 ☎ 703 ☎ 704 ☎ 705 ☎ 706 ☎ 707 ☎ 708 ☎ 709 ☎ 710 ☎ 711 ☎ 712 ☎ 713 ☎ 714 ☎ 715 ☎ 716 ☎ 717 ☎ 718 ☎ 719 ☎ 720 ☎ 721 ☎ 722 ☎ 723 ☎ 724 ☎ 725 ☎ 726 ☎ 727 ☎ 728 ☎ 729 ☎ 730 ☎ 731 ☎ 732 ☎ 733 ☎ 734 ☎ 735 ☎ 736 ☎ 737 ☎ 738 ☎ 739 ☎ 740 ☎ 741 ☎ 742 ☎ 743 ☎ 744 ☎ 745 ☎ 746 ☎ 747 ☎ 748 ☎ 749 ☎ 750 ☎ 751 ☎ 752 ☎ 753 ☎ 754 ☎ 755 ☎ 756 ☎ 757 ☎ 758 ☎ 759 ☎ 760 ☎ 761 ☎ 762 ☎ 763 ☎ 764 ☎ 765 ☎ 766 ☎ 767 ☎ 768 ☎ 769 ☎ 770 ☎ 771 ☎ 772 ☎ 773 ☎ 774 ☎ 775 ☎ 776 ☎ 777 ☎ 778 ☎ 779 ☎ 780 ☎ 781 ☎ 782 ☎ 783 ☎ 784 ☎ 785 ☎ 786 ☎ 787 ☎ 788 ☎ 789 ☎ 790 ☎ 791 ☎ 792 ☎ 793 ☎ 794 ☎ 795 ☎ 796 ☎ 797 ☎ 798 ☎ 799 ☎ 800 ☎ 801 ☎ 802 ☎ 803 ☎ 804 ☎ 805 ☎ 806 ☎ 807 ☎ 808 ☎ 809 ☎ 810 ☎ 811 ☎ 812 ☎ 813 ☎ 814 ☎ 815 ☎ 816 ☎ 817 ☎ 818 ☎ 819 ☎ 820 ☎ 821 ☎ 822 ☎ 823 ☎ 824 ☎ 825 ☎ 826 ☎ 827 ☎ 828 ☎ 829 ☎ 830 ☎ 831 ☎ 832 ☎ 833 ☎ 834 ☎ 835 ☎ 836 ☎ 837 ☎ 838 ☎ 839 ☎ 840 ☎ 841 ☎ 842 ☎ 843 ☎ 844 ☎ 845 ☎ 846 ☎ 847 ☎ 848 ☎ 849 ☎ 850 ☎ 851 ☎ 852 ☎ 853 ☎ 854 ☎ 855 ☎ 856 ☎ 857 ☎ 858 ☎ 859 ☎ 860 ☎ 861 ☎ 862 ☎ 863 ☎ 864 ☎ 865 ☎ 866 ☎ 867 ☎ 868 ☎ 869 ☎ 870 ☎ 871 ☎ 872 ☎ 873 ☎ 874 ☎ 875 ☎ 876 ☎ 877 ☎ 878 ☎ 879 ☎ 880 ☎ 881 ☎ 882 ☎ 883 ☎ 884 ☎ 885 ☎ 886 ☎ 887 ☎ 888 ☎ 889 ☎ 890 ☎ 891 ☎ 892 ☎ 893 ☎ 894 ☎ 895 ☎ 896 ☎ 897 ☎ 898 ☎ 899 ☎ 900 ☎ 901 ☎ 902 ☎ 903 ☎ 904 ☎ 905 ☎ 906 ☎ 907 ☎ 908 ☎ 909 ☎ 910 ☎ 911 ☎ 912 ☎ 913 ☎ 914 ☎ 915 ☎ 916 ☎ 917 ☎ 918 ☎ 919 ☎ 920 ☎ 921 ☎ 922 ☎ 923 ☎ 924 ☎ 925 ☎ 926 ☎ 927 ☎ 928 ☎ 929 ☎ 930 ☎ 931 ☎ 932 ☎ 933 ☎ 934 ☎ 935 ☎ 936 ☎ 937 ☎ 938 ☎ 939 ☎ 940 ☎ 941 ☎ 942 ☎ 943 ☎ 944 ☎ 945 ☎ 946 ☎ 947 ☎ 948 ☎ 949 ☎ 950 ☎ 951 ☎ 952 ☎ 953 ☎ 954 ☎ 955 ☎ 956 ☎ 957 ☎ 958 ☎ 959 ☎ 960 ☎ 961 ☎ 962 ☎ 963 ☎ 964 ☎ 965 ☎ 966 ☎ 967 ☎ 968 ☎ 969 ☎ 970 ☎ 971 ☎ 972 ☎ 973 ☎ 974 ☎ 975 ☎ 976 ☎ 977 ☎ 978 ☎ 979 ☎ 980 ☎ 981 ☎ 982 ☎ 983 ☎ 984 ☎ 985 ☎ 986 ☎ 987 ☎ 988 ☎ 989 ☎ 990 ☎ 991 ☎ 992 ☎ 993 ☎ 994 ☎ 995 ☎ 996 ☎ 997 ☎ 998 ☎ 999 ☎ 1000
	雇用を維持したい	雇用調整助成金 一時休業等により労働者の雇用維持を図った場合、休業手当等の一部助成が受けられます。 助成率：中小企業 4/5（要件を満たす場合 最大 10/10）、大企業 2/3 上限：1日あたり 8,330円	雇用助成金さっぽろセンター ☎ 011-788-2294 雇用調整助成金コールセンター ☎ 0120-60-3999 雇用調整助成金申請サポート窓口 ※申請に関する情報提供、サポート 北海道庁雇用労務課または各（総合）振興局商工労働課光臨 ☎ 117 ☎ 118 ☎ 119 ☎ 120 ☎ 121 ☎ 122 ☎ 123 ☎ 124 ☎ 125 ☎ 126 ☎ 127 ☎ 128 ☎ 129 ☎ 130 ☎ 131 ☎ 132 ☎ 133 ☎ 134 ☎ 135 ☎ 136 ☎ 137 ☎ 138 ☎ 139 ☎ 140 ☎ 141 ☎ 142 ☎ 143 ☎ 144 ☎ 145 ☎ 146 ☎ 147 ☎ 148 ☎ 149 ☎ 150 ☎ 151 ☎ 152 ☎ 153 ☎ 154 ☎ 155 ☎ 156 ☎ 157 ☎ 158 ☎ 159 ☎ 160 ☎ 161 ☎ 162 ☎ 163 ☎ 164 ☎ 165 ☎ 166 ☎ 167 ☎ 168 ☎ 169 ☎ 170 ☎ 171 ☎ 172 ☎ 173 ☎ 174 ☎ 175 ☎ 176 ☎ 177 ☎ 178 ☎ 179 ☎ 180 ☎ 181 ☎ 182 ☎ 183 ☎ 184 ☎ 185 ☎ 186 ☎ 187 ☎ 188 ☎ 189 ☎ 190 ☎ 191 ☎ 192 ☎ 193 ☎ 194 ☎ 195 ☎ 196 ☎ 197 ☎ 198 ☎ 199 ☎ 200 ☎ 201 ☎ 202 ☎ 203 ☎ 204 ☎ 205 ☎ 206 ☎ 207 ☎ 208 ☎ 209 ☎ 210 ☎ 211 ☎ 212 ☎ 213 ☎ 214 ☎ 215 ☎ 216 ☎ 217 ☎ 218 ☎ 219 ☎ 220 ☎ 221 ☎ 222 ☎ 223 ☎ 224 ☎ 225 ☎ 226 ☎ 227 ☎ 228 ☎ 229 ☎ 230 ☎ 231 ☎ 232 ☎ 233 ☎ 234 ☎ 235 ☎ 236 ☎ 237 ☎ 238 ☎ 239 ☎ 240 ☎ 241 ☎ 242 ☎ 243 ☎ 244 ☎ 245 ☎ 246 ☎ 247 ☎ 248 ☎ 249 ☎ 250 ☎ 251 ☎ 252 ☎ 253 ☎ 254 ☎ 255 ☎ 256 ☎ 257 ☎ 258 ☎ 259 ☎ 260 ☎ 261 ☎ 262 ☎ 263 ☎ 264 ☎ 265 ☎ 266 ☎ 267 ☎ 268 ☎ 269 ☎ 270 ☎ 271 ☎ 272 ☎ 273 ☎ 274 ☎ 275 ☎ 276 ☎ 277 ☎ 278 ☎ 279 ☎ 280 ☎ 281 ☎ 282 ☎ 283 ☎ 284 ☎ 285 ☎ 286 ☎ 287 ☎ 288 ☎ 289 ☎ 290 ☎ 291 ☎ 292 ☎ 293 ☎ 294 ☎ 295 ☎ 296 ☎ 297 ☎ 298 ☎ 299 ☎ 300 ☎ 301 ☎ 302 ☎ 303 ☎ 304 ☎ 305 ☎ 306 ☎ 307 ☎ 308 ☎ 309 ☎ 310 ☎ 311 ☎ 312 ☎ 313 ☎ 314 ☎ 315 ☎ 316 ☎ 317 ☎ 318 ☎ 319 ☎ 320 ☎ 321 ☎ 322 ☎ 323 ☎ 324 ☎ 325 ☎ 326 ☎ 327 ☎ 328 ☎ 329 ☎ 330 ☎ 331 ☎ 332 ☎ 333 ☎ 334 ☎ 335 ☎ 336 ☎ 337 ☎ 338 ☎ 339 ☎ 340 ☎ 341 ☎ 342 ☎ 343 ☎ 344 ☎ 345 ☎ 346 ☎ 347 ☎ 348 ☎ 349 ☎ 350 ☎ 351 ☎ 352 ☎ 353 ☎ 354 ☎ 355 ☎ 356 ☎ 357 ☎ 358 ☎ 359 ☎ 360 ☎ 361 ☎ 362 ☎ 363 ☎ 364 ☎ 365 ☎ 366 ☎ 367 ☎ 368 ☎ 369 ☎ 370 ☎ 371 ☎ 372 ☎ 373 ☎ 374 ☎ 375 ☎ 376 ☎ 377 ☎ 378 ☎ 379 ☎ 380 ☎ 381 ☎ 382 ☎ 383 ☎ 384 ☎ 385 ☎ 386 ☎ 387 ☎ 388 ☎ 389 ☎ 390 ☎ 391 ☎ 392 ☎ 393 ☎ 394 ☎ 395 ☎ 396 ☎ 397 ☎ 398 ☎ 399 ☎ 400 ☎ 401 ☎ 402 ☎ 403 ☎ 404 ☎ 405 ☎ 406 ☎ 407 ☎ 408 ☎ 409 ☎ 410 ☎ 411 ☎ 412 ☎ 413 ☎ 414 ☎ 415 ☎ 416 ☎ 417 ☎ 418 ☎ 419 ☎ 420 ☎ 421 ☎ 422 ☎ 423 ☎ 424 ☎ 425 ☎ 426 ☎ 427 ☎ 428 ☎ 429 ☎ 430 ☎ 431 ☎ 432 ☎ 433 ☎ 434 ☎ 435 ☎ 436 ☎ 437 ☎ 438 ☎ 439 ☎ 440 ☎ 441 ☎ 442 ☎ 443 ☎ 444 ☎ 445 ☎ 446 ☎ 447 ☎ 448 ☎ 449 ☎ 450 ☎ 451 ☎ 452 ☎ 453 ☎ 454 ☎ 455 ☎ 456 ☎ 457 ☎ 458 ☎ 459 ☎ 460 ☎ 461 ☎ 462 ☎ 463 ☎ 464 ☎ 465 ☎ 466 ☎ 467 ☎ 468 ☎ 469 ☎ 470 ☎ 471 ☎ 472 ☎ 473 ☎ 474 ☎ 475 ☎ 476 ☎ 477 ☎ 478 ☎ 479 ☎ 480 ☎ 481 ☎ 482 ☎ 483 ☎ 484 ☎ 485 ☎ 486 ☎ 487 ☎ 488 ☎ 489 ☎ 490 ☎ 491 ☎ 492 ☎ 493 ☎ 494 ☎ 495 ☎ 496 ☎ 497 ☎ 498 ☎ 499 ☎ 500 ☎ 501 ☎ 502 ☎ 503 ☎ 504 ☎ 505 ☎ 506 ☎ 507 ☎ 508 ☎ 509 ☎ 510 ☎ 511 ☎ 512 ☎ 513 ☎ 514 ☎ 515 ☎ 516 ☎ 517 ☎ 518 ☎ 519 ☎ 520 ☎ 521 ☎ 522 ☎ 523 ☎ 524 ☎ 525 ☎ 526 ☎ 527 ☎ 528 ☎ 529 ☎ 530 ☎ 531 ☎ 532 ☎ 533 ☎ 534 ☎ 535 ☎ 536 ☎ 537 ☎ 538 ☎ 539 ☎ 540 ☎ 541 ☎ 542 ☎ 543 ☎ 544 ☎ 545 ☎ 546 ☎ 547 ☎ 548 ☎ 549 ☎ 550 ☎ 551 ☎ 552 ☎ 553 ☎ 554 ☎ 555 ☎ 556 ☎ 557 ☎ 558 ☎ 559 ☎ 560 ☎ 561 ☎ 562 ☎ 563 ☎ 564 ☎ 565 ☎ 566 ☎ 567 ☎ 568 ☎ 569 ☎ 570 ☎ 571 ☎ 572 ☎ 573 ☎ 574 ☎ 575 ☎ 576 ☎ 577 ☎ 578 ☎ 579 ☎ 580 ☎ 581 ☎ 582 ☎ 583 ☎ 584 ☎ 585 ☎ 586 ☎ 587 ☎ 588 ☎ 589 ☎ 590 ☎ 591 ☎ 592 ☎ 593 ☎ 594 ☎ 595 ☎ 596 ☎ 597 ☎ 598 ☎ 599 ☎ 600 ☎ 601 ☎ 602 ☎ 603 ☎ 604 ☎ 605 ☎ 606 ☎ 607 ☎ 608 ☎ 609 ☎ 610 ☎ 611 ☎ 612 ☎ 613 ☎ 614 ☎ 615 ☎ 616 ☎ 617 ☎ 618 ☎ 619 ☎ 620 ☎ 621 ☎ 622 ☎ 623 ☎ 624 ☎ 625 ☎ 626 ☎ 627 ☎ 628 ☎ 629 ☎ 630 ☎ 631 ☎ 632 ☎ 633 ☎ 634 ☎ 635 ☎ 636 ☎ 637 ☎ 638 ☎ 639 ☎ 640 ☎ 641 ☎ 642 ☎ 643 ☎ 644 ☎ 645 ☎ 646 ☎ 647 ☎ 648 ☎ 649 ☎ 650 ☎ 651 ☎ 652 ☎ 653 ☎ 654 ☎ 655 ☎ 656 ☎ 657 ☎ 658 ☎ 659 ☎ 660 ☎ 661 ☎ 662 ☎ 663 ☎ 664 ☎ 665 ☎ 666 ☎ 667 ☎ 668 ☎ 669 ☎ 670 ☎ 671 ☎ 672 ☎ 673 ☎ 674 ☎ 675 ☎ 676 ☎ 677 ☎ 678 ☎ 679 ☎ 680 ☎ 681 ☎ 682 ☎ 683 ☎ 684 ☎ 685 ☎ 686 ☎ 687 ☎ 688 ☎ 689 ☎ 690 ☎ 691 ☎ 692 ☎ 693 ☎ 694 ☎ 695 ☎ 696 ☎ 697 ☎ 698 ☎ 699 ☎ 700 ☎ 701 ☎ 702 ☎ 703 ☎ 704 ☎ 705 ☎ 706 ☎ 707 ☎ 708 ☎ 709 ☎ 710 ☎ 711 ☎ 712 ☎ 713 ☎ 714 ☎ 715 ☎ 716 ☎ 717 ☎ 718 ☎ 719 ☎ 720 ☎ 721 ☎ 722 ☎ 723 ☎ 724 ☎ 725 ☎ 726 ☎ 727 ☎ 728 ☎ 729 ☎ 730 ☎ 731 ☎ 732 ☎ 733 ☎ 734 ☎ 735 ☎ 736 ☎ 737 ☎ 738 ☎ 739 ☎ 740 ☎ 741 ☎ 742 ☎ 743 ☎ 744 ☎ 745 ☎ 746 ☎ 747 ☎ 748 ☎ 749 ☎ 750 ☎ 751 ☎ 752 ☎ 753 ☎ 754 ☎ 755 ☎ 756 ☎ 757 ☎ 758 ☎ 759 ☎ 760 ☎ 761 ☎ 762 ☎ 763 ☎ 764 ☎ 765 ☎ 766 ☎ 767 ☎ 768 ☎ 769 ☎ 770 ☎ 771 ☎ 772 ☎ 773 ☎ 774 ☎ 775 ☎ 776 ☎ 777 ☎ 778 ☎ 779 ☎ 780 ☎ 781 ☎ 782 ☎ 783 ☎ 784 ☎ 785 ☎ 786 ☎ 787 ☎ 788 ☎ 789 ☎ 790 ☎ 791 ☎ 792 ☎ 793 ☎ 794 ☎ 795 ☎ 796 ☎ 797 ☎ 798 ☎ 799 ☎ 800 ☎ 801 ☎ 802 ☎ 803 ☎ 804 ☎ 805 ☎ 806 ☎ 807 ☎ 808 ☎ 809 ☎ 810 ☎ 811 ☎ 812 ☎ 813 ☎ 814 ☎ 815 ☎ 816 ☎ 817 ☎ 818 ☎ 819 ☎ 820 ☎ 821 ☎ 822 ☎ 823 ☎ 824 ☎ 825 ☎ 826 ☎ 827 ☎ 828 ☎ 829 ☎ 830 ☎ 831 ☎ 832 ☎ 833 ☎ 834 ☎ 835 ☎ 836 ☎ 837 ☎ 838 ☎ 839 ☎ 840 ☎ 841 ☎ 842 ☎ 843 ☎ 844 ☎ 845 ☎ 846 ☎ 847 ☎ 848 ☎ 849 ☎ 850 ☎ 851 ☎ 852 ☎ 853 ☎ 854 ☎ 855 ☎ 856 ☎ 857 ☎ 858 ☎ 859 ☎ 860 ☎ 861 ☎ 862 ☎ 863 ☎ 864 ☎ 865 ☎ 866 ☎ 867 ☎ 868 ☎ 869 ☎ 870 ☎ 871 ☎ 872 ☎ 873 ☎ 874 ☎ 875 ☎ 876 ☎ 877 ☎ 878 ☎ 879 ☎ 880 ☎ 881 ☎ 882 ☎ 883 ☎ 884 ☎ 885 ☎ 886 ☎ 887 ☎ 888 ☎ 889 ☎ 890 ☎ 891 ☎ 892 ☎ 893 ☎ 894 ☎ 895 ☎ 896 ☎ 897 ☎ 898 ☎ 899 ☎ 900 ☎ 901 ☎ 902 ☎ 903 ☎ 904 ☎ 905 ☎ 906 ☎ 907 ☎ 908 ☎ 909 ☎ 910 ☎ 911 ☎ 912 ☎ 913 ☎ 914 ☎ 915 ☎ 916 ☎ 917 ☎ 918 ☎ 919 ☎ 920 ☎ 921 ☎ 922 ☎ 923 ☎ 924 ☎ 925 ☎ 926 ☎ 927 ☎ 928 ☎ 929 ☎ 930 ☎ 931 ☎ 932 ☎ 933 ☎ 934 ☎ 935 ☎ 936 ☎ 937 ☎ 938 ☎ 939 ☎ 940 ☎ 941 ☎ 942 ☎ 943 ☎ 944 ☎ 945 ☎ 946 ☎ 947 ☎ 948 ☎ 949 ☎ 950 ☎ 951 ☎ 952 ☎ 953 ☎ 954 ☎ 955 ☎ 956 ☎ 957 ☎ 958 ☎ 959 ☎ 960 ☎ 961 ☎ 962 ☎ 963 ☎ 964 ☎ 965 ☎ 966 ☎ 967 ☎ 968 ☎ 969 ☎ 970 ☎ 971 ☎ 972 ☎ 973 ☎ 974 ☎ 975 ☎ 976 ☎ 977 ☎ 978 ☎ 979 ☎ 980 ☎ 981 ☎ 982 ☎ 983 ☎ 984 ☎ 985 ☎ 986 ☎ 987 ☎ 988 ☎ 989 ☎ 990 ☎ 991 ☎ 992 ☎ 993 ☎ 994 ☎ 995 ☎ 996 ☎ 997 ☎ 998 ☎ 999 ☎ 1000
	子の世話で従業員が休業した自分が休業した	小学校休業等対応助成金（雇用者／個人事業主等） 臨時休業などに伴い、子どもなどの世話で休業をした場合に助成金を支給します。 ・従業員に有給休暇（年次有給休暇除く）を取得させた事業主：1日あたり 8,330円 ・個人事業主またはフリーランス：1日あたり 4,100円（定額）	学校等休業助成金・支援金等相談コールセンター ☎ 0120-60-3999
	感染拡大防止に取り組みたい	宿泊事業者に対する支援 感染予防に向けた衛生関連機器等の導入を支援します。 補助率：3/4以内、1施設あたり 上限 200万円	北海道庁観光局 ☎ 011-204-5303
感染拡大防止ガイドラインの策定、普及に対する支援 「3密」が発生しやすく、オンラインによる代替対応が困難なホテル・旅館業界（宴会部門）、ライブ・エンターテインメント業界、バス・タクシー業界における感染拡大防止の取組を支援します。 ・各業種団体による感染拡大防止ガイドラインの策定及び普及啓発に対する支援 ・ガイドラインに沿った取組を実施する事業主に業界団体から給付金を支給 各事業者等 25万円		ホテル・旅館業界（宴会部門） 北海道庁観光局 ☎ 011-206-6896 ライブ・エンターテインメント業界 北海道庁経済企画課 ☎ 011-204-5140 バス・タクシー業界 北海道庁交通企画課 ☎ 011-204-5163	
	中小・小規模事業者感染予防対策等緊急支援事業 地域の商店街等が実施する感染拡大防止対策や果ごもり消費等に対応した販売促進等の取組を支援します。 補助率：3/4以内、1団体あたり 上限 100万円	北海道庁中小企業課 ☎ 011-204-5341	

道内事業者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援の一覧

給付金等	販路拡大や設備導入に取り組みたい	ものづくり・商業・サービス補助 部品の内製化や、国内への拠点移転など、新製品・サービス開発や生産プロセス改善等のための設備投資等を支援します。 【通常枠】補助率
------	------------------	--

～北海道民を支援する主な制度（参考）～

※文字が小さい場合や最新の情報は右のQRコードからご確認ください



北海道民のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援の一覧

給付金等	すべてのみなさまに	特別定額給付金	住民基本台帳に記録されている全国すべての方に対して、迅速かつ確に家計への支援を行うため、 一人当たり 10万円 を給付します。	一人当たり 10万円	各市町村または 総務省コールセンター ☎ 0120-260-020
	子育て世帯への支援	子育て世帯への臨時特別給付金	児童手当(本則給付)を受給する世帯に対し、 対象児童一人当たり 1万円 を支給します。	児童一人当たり 1万円	各市町村または 内閣府コールセンター ☎ 0120-271-381
	業務や通勤などで発症した	労災保険の休業補償	業務又は通勤に起因して新型コロナウイルスを発症したものであると認められる場合には 労災保険給付の対象 となります。 (平均賃金の 80%補償)	平均賃金の 80%補償	各労働基準監督署 (厚生労働省HP参照)
	感染・感染の疑いで無給や減給になった	国民健康保険等の傷病手当金の支給	新型コロナウイルスに感染したり感染が疑われたりして無給や減給になった場合に、国民健康保険、後期高齢者医療の傷病手当金を受けとれる場合があります。		各市町村
	収入減で家賃が払えない	住居確保給付金の支給対象範囲拡大	休業等による収入減少で住居を失うおそれのある方に対し、 家賃相当額(上限あり) を支給します。 ※離職・廃業後2年以内/給与等を得る機会が該当個人の責に帰すべき理由・都合によらずに減少し、離職や廃業と同程度の状況にある人		最寄りの自立相談支援機関 (厚生労働省HP参照)
		道営住宅の提供	新型コロナウイルス感染症の影響による解雇に伴い、現に居住している社宅などから退去を余儀なくされる方またはその同居親族に該当する方に 道営住宅を提供 します。		最寄りの各(総合)振興局 建設指導課(道庁HP参照)
収入減で学費が払えない	学生支援緊急給付金	家庭から自立してアルバイト収入により学費等を随っている方で、アルバイト収入が大幅に減少し、 修学の継続が困難 になっている学生等に 一人当たり10万円 を給付します。	一人当たり 10万円 35歳未満 非正規就労の学生 20万円	在学学校※の担当窓口 ※国公立大学・大学院、短大、専修、専門学校(日本建築教育専門機関を含む)	
	高等教育修学支援新制度	予期できない事由により家計が急変し、世帯(父母等)の収入が減った場合、授業料等減免や給付型奨学金の対象となる場合があります。		(独)日本学生支援機構 奨学金相談センター ☎ 0570-666-301	
	高校生等奨学給付金(道立高校・私立高校)	家計急変世帯に対して、授業料等以外の教育に必要な経費を給付します。		道立:教育庁高等教育課 ☎ 011-204-5760 私立:北海道庁学事課 ☎ 011-204-5066	

北海道民のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援の一覧

貸付	生活資金に不安がある	緊急小口資金 主に休業された方等向け	据置期間:貸付日から1年以内 返済期間:据置期間経過後2年以内	最大 20万円	各市区町村社会福祉協議会 または北海道社会福祉協議会 特別貸付コールセンター ☎ 0120-32-1760
		総合支援資金(生活支援費) 主に失業された方等向け	据置期間:貸付日から1年以内 返済期間:据置期間経過後10年以内	単身世帯 15万円以内 複数世帯 20万円以内	厚生労働省 緊急小口資金・ 総合支援資金相談センター ☎ 0120-46-1999
		勤労者福祉資金 勤労されている方や 離職された方向け	教育費や一般生活費などの資金を、取扱金融機関を通じて低利で融資します。 中小企業従業員、非正規雇用労働者: 120万円以内 (金利年1.6%、保証料年0.5%) ※新型コロナウイルス感染症の影響により休業を余儀なくされた勤労者の方に対して、 保証料を免除(2020年9月末申込み受付分まで) 季節労働者: 120万円以内 (金利年0.6%、保証料免除) 事業主都合の離職者: 100万円以内 (金利年0.6%、保証料免除)		北海道庁中小企業課 ☎ 011-204-5346 北海道庁雇用労務課 ☎ 011-204-5354
猶予	納税が今は厳しい	納税の猶予 (道税・国税等)	道税や国税について期限内に納税ができない場合は、納税の猶予が適用される場合があります。(市町村税も同様に適用される場合があります。)		【道税】 最寄りの各(総合)振興局 納税担当課または道税事務所 (道庁HP参照) 【国税】 札幌国税局猶予相談センター ☎ 0120-291-675
	社会保険料等が払えない	国民年金保険料、 国民健康保険料等の猶予 など	支払いが困難になった方を対象に国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の保険料の 支払いの猶予 などが適用できる場合があります。		【国民年金】 各市町村 または年金事務所 (日本年金機構HP参照) 【国民健康保険等】 各市町村
	水道料金等の支払いが厳しい	上下水道料金の支払い猶予	支払いが困難になった方を対象に 支払いの猶予 が適用できる場合があります。		お住まいの地域の水道局

I 活 < AI 勝 > 攻めの IT

～IT を活用して環境を変えてみよう～

業務の在り方を変えるオンライン化の波

●新型コロナウイルス感染症対策によって広がる新たな働き方

2020 年に入り世界中に多大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症。日本国内においても 3 密(密閉・密集・密接)を回避する各種施策が打ち出されています。特にこの 3 密を回避するツールとして注目を浴びているのが WEB 会議システムの活用やテレワーク等の導入による事業・働き方のオンライン化です。本記事ではオンライン化によって多様化した各種取組の紹介や効果等について紹介させていただきます。

●テレワークとは

「Tele=離れたところで Work=働く」をあわせた造語であり、ICT を活用した、時間と場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことです。サテライトオフィスやコワーキングスペース、カフェ等の利用など様々な形態があり、近年は地方にサテライトオフィスを設置する「ふるさとテレワーク」や個人事業主がインターネットを通じて企業や個人が直接受発注を行える「クラウドソーシング」を活用する自営型テレワークも実施されています。

総務省の統計データによると 2017 年の企業におけるテレワークの導入率は 13.9%となっていますが、3 密を回避し企業活動を継続する手段の一つとして注目され、2020 年には導入企業が大幅に増加することが予想されています。

●テレワークや事業のオンライン化に利用されるツール (主な機能)

(1)WEB 会議システム (Zoom,Webex など)

インターネットを介して、遠隔地の相手と接続し、複数人でオンライン会議ができるツールです。

一定の制限(時間や人数等)はありますが無料で利用できるケースも多く、3 密を避けるだけでなくコスト削減や事業の効率化(時間の短縮等)を図ることができます。

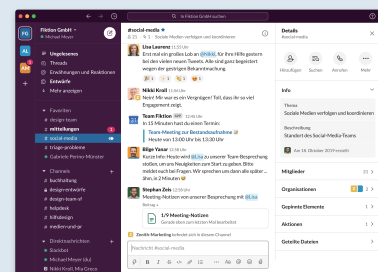
【メリット・効果】

1. 交通費と移動時間等のコスト削減ができる
2. 労働生産性の向上(場所を問わず遠隔地への対応が可能)
3. 会議資料の準備が簡単(ペーパーレス)



(2) ビジネスチャット・スケジュール共有ツール (Chat work,Slack 等)

メッセージのやり取りやファイルの共有、タスク管理機能等を備えており、遠隔地にいる複数人で情報の共有と業務管理が行えるツールです。



【メリット・効果】

1. 最新の情報をリアルタイムで共有
2. 不要な会議の削減
3. コミュニケーション不足を補う(言った・言わないの未然防止)

参考画像: Slack (チャットツール)

(3) 勤怠管理システム

オンラインで管理を実施することにより、遠隔地の勤怠管理や残業時間の算出等の業務を自動化することができるツール

【メリット・効果】

1. フレックスタイム等の多様化する働き方に対応
2. 勤怠時間の集計作業等の煩雑な業務を簡素化
3. 管理者や従業員との情報共有が簡潔になる

●オンライン化による留意点

(1) インターネット通信環境に左右される

インターネット回線の接続状況が悪いと、作業・会議が中断する恐れがあります。また、音質や画質が低下し、重要な情報を聞き逃し、話の意図が伝わりにくいことがあります。

(2) セキュリティ面の課題がある

WEB 会議ツールを利用した会議において、ハッカーが侵入し会議の妨害を行う「荒らし行為」が頻発する等、セキュリティ不備が指摘されるケースがあり、企業秘密や個人情報が漏洩するケースも考えられます。一般的に会議ツールの販売元が規約や契約で、セキュリティレベルを担保することはありません。そのため、会議ツールの脆弱性情報を収集し、対策を講じることが必要です。(個人情報の取り扱いが厳重な組織では導入に慎重なケースもあります)

(3) 勤怠管理の難しさ

テレワークでは実際に従業員が適切な業務を行っているのかの実態を把握することが難しい側面があります。既述の勤怠管理のツールも用意されていますが、業種や業務内容によっては実際の運用が難しいケースがあります。

●具体的な導入事例 (課題の解決)

(1) セミナーのオンライン化

新型コロナウイルス感染症の影響により一つの会場に集まって実施するイベントやセミナーが軒並み中止を余儀なくされています。WEB 会議システムを利用することによってオンライン上で不特定多数の参加者をつなぎ、セミナーや勉強会等のイベントを実施しています。

(2) 遠隔地の商談・打ち合わせに活用

新型コロナウイルス感染症の影響により上記のイベントやセミナー同様、ビジネスにおける対面の商談・打ち合わせの機会も大幅に減少しています。オンラインツールを活用することで、遠隔地同士の商談を実施することが可能になり、面談にかかる費用や時間を削減することができます。国内のみならず海外においても活用できるケースも多く、オンラインのコミュニケーションが浸透することで海外ビジネスの加速化にも貢献が期待されています。

●導入に関する支援制度 (主な支援制度抜粋)

(1) 働き方改革推進支援助成金 (厚生労働省)

テレワーク導入・実施時かかる通信機器の導入・運用や就業規則等の作成・変更、外部専門家のコンサルティング費用の一部等を助成します。

成果目標の達成状況	達成	未達
補助率	3/4	1/2
1人あたりの上限額	40万円	20万円
1企業あたりの上限額	300万円	200万円

※助成金詳細は厚生労働省
HPを参照願います。
(右図 QR コード)



(2) IT 導入補助金「特別枠」(中小企業基盤整備機構)

中小企業の IT ツールの導入を支援する助成金。特別枠では新型コロナウイルス感染症対策として非対面型ビジネスモデルへの転換、テレワーク環境の整備等に取り組む事業者の IT ツール導入を優先的に支援するために創設

< 特別枠要件 抜粋 >

○ソフトウェア購入費用およびソフトウェアに必要な不可欠なハードウェアのレンタル費用

○補助率 3/4 ○補助上限額 450万円

※助成金詳細は IT 導入補助金ポータルサイト (一般社団法人サービスデザイン推進協議会 事務局) 参照願います。(右図 QR コード)



●今後の見通し

WITH コロナというワードが使われているとおり、今後もリモートワークや WEB 会議システムを活用した事業や対策が継続することが予想されます。本記事を参考にテレワーク等の導入を検討したい、より詳細な情報が欲しいという方につきましては、大地みらい信用金庫地域みらい創造センター、もしくはお近くの本支店へご相談ください。

根釧管内の動向：TOPICS

□マクロ経済

内閣府が5月28日に発表した令和2年1-3期の国内総生産（GDP）の成長率は、民間最終消費支出、財貨・サービスの純輸出、民間住宅、民間企業設備がマイナスに寄与し、前期比で0.9%減（年率3.4%減）と、2四半期連続のマイナスとなりました。

2月までの景気の基調判断では「緩やかに回復している」との見方でしたが、北海道の2月末の緊急事態宣言を皮切りに外出制限等が全国へ拡大しました。多くの国においても、渡航制限や外出禁止等の措置が取られ、日本政府観光局（JNTO）の調査で2020年4月の訪日外客数は2,900人（前年同月比99.9%減）となり、単月の訪日外客数としては、JNTOが統計を取り始めた1964年以降訪日外客数が過去最少を記録しました。

3月の基調判断からは、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続き、足下の5月まで極めて厳しい状況となっております。こうした状況は海外も同様であり、パンデミック（世界的大流行）による飛行機の運行停止や車の移動急減、国際貿易の停滞等で世界の石油消費量の落ち込みが原油価格を押し下げ、4月にはWTIの原油価格が一時マイナスをつけるなど、金融市場にも大きな影響を及ぼしています。

□根釧管内の動向

令和2年1-3期の主要小売店売上高（釧路財務事務所発表）は前年比0.9%の減少となり、うち衣料品は前年比25.2%と大きく減少、家電・家庭用品については前年比4.6%の減少となりました。反面、食料品については、前年比3.0%増となっており、総体の減少幅を抑えています。要因としては新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、緊急事態宣言が発動され、飲食業や観光業は大きな打撃を受けています。雇用や収入等の先行きへの不安や、3密を避けた外出抑制から衣料品や家電等への支出が抑制された一方で、食料品については学校の休校や分散登校、リモートワークによる自宅での生活が増えたことや、買いだめの動きにより、食料品の需要が増加したことが要因と見られます。

新車販売台数においては、昨年10月からの消費増税により第3四半期は前年比▲20.2%と大きく落ち込みましたことに加え、年明けからの新型コロナの影響により、車等への非耐久消費財への支出は抑制され、前年比16.0%の減少となっています。

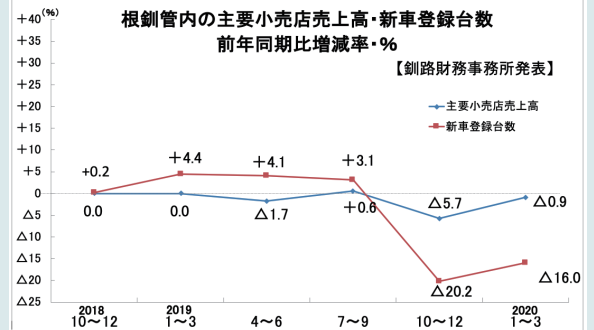
酪農業においてはクラスター事業による規模拡大や経営効率化が図られ、生乳生産量は前年比2.5%増となっていますが、学校給食ストップ等の需要減もあり、3月の乳価は前月比1.7円減と下落基調。水産業はスケソウ、春鮭トキシラズの水揚げに回復が見られますが、北海シマエビやホタテ等各魚種の価格は、コロナの影響で価格が下落するなど、厳しい環境が続いています。

内閣府による月例経済報告の基調判断

2019年12月	景気は、輸出が引き続き弱含む中で、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
2020年1月	景気は、輸出が引き続き弱含む中で、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
2020年2月	景気は、輸出が引き続き弱含む中で、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。
2020年3月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、足元で大幅に下押しされており、厳しい状況にある。
2020年4月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。
2020年5月	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にある。

5月の月例経済報告の項目別判断

項目	景気判断
個人消費	感染症の影響により、急速な減少が続いている
設備投資	このところ弱含んでいる
住宅建設	弱含んでいる
公共投資	底堅く推移している
輸出	感染症の影響は残るものの、このところ下げ止まりつつある
輸入	赤字となっている
生産	感染症の影響により、減少している
企業収益	感染症の影響により、急速に減少している
雇用情勢	感染症の影響により、弱さが増している



根釧管内の動向：TOPICS

□根室管内のホタテ水揚げ動向

1～3月の野付・標津のホタテ漁は数量が両地区合計 12,024 トンで前年比 17.4%減少、平均価格は両地区平均 213 円 / kg で前年比 21.4%減少。金額は 2,558 百万円で同 35.2%の減少となっています。

※野付速報値

(歯舞・根室・根室湾中部・別海・野付)

共同海区操業 5月末終漁

1月～5月

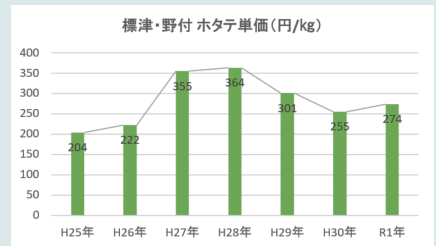
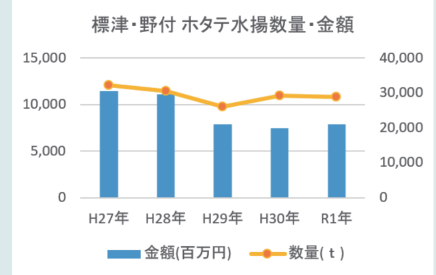
水揚げ数量 1万5,090トン 前年比 34%減少

水揚げ金額 3,253百万円 前年比 50%減少

1月以降の総水揚げ量は前年同期比 34%減。浜安傾向でキロ平均単価は 24%安の 215 円、金額は 50%減少と減産・減額。

要因としては、巽沖の空貝が想定外に多く苦戦を強いられたほか、新型コロナウイルスの影響で需要減退が重なり大幅な減額となりました。

□ホタテ漁（野付・標津）

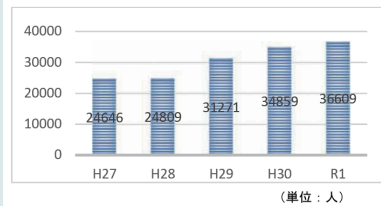


□観光の動向

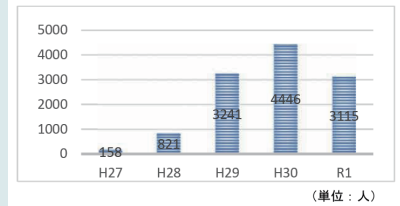
(1) 根室管内の入込み

①令和元年度の入込数は 1,946 千人で前年比 112.1% (21 万人増加) と総体では増加となりました。内訳を見ると、上期はGWが 10 連休となったことなどから、羅臼町の夏季クルーズ等も

【羅臼町の観光船利用者数の推移】



【別海町の水平線ウォーク参加者の推移】



※根室振興局公表資料 参照

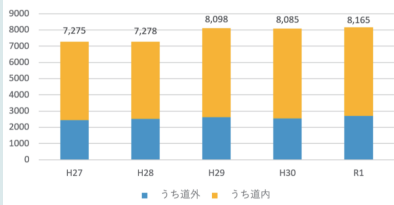
堅調に推移し、道内・日帰り客が増加。下期は新型コロナウイルスの影響で増加基調であった別海町の水平線ウォーク参加者等も減少し、前年比減少となりましたが、総体では増加となりました。

②訪日外国人宿泊客数は 6,528 人で、前年比 6.7%減少。宿泊客延数は 8,900 人で、前年比 21.2%減少。国別の宿泊延数では中国が 22%、台湾 16.2%、香港 10.3%となっています。

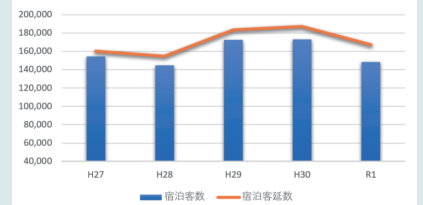
(2) 釧路管内の入込

①令和元年度の入込数は 8,165 千人で前年比 101.0% (8 万人増加) となり過去最高となりました。平成 31 年 3 月の釧路外環状道路の開通や 5 月の大型連休、格安航空等の効果もあり、上期は道内・道外・日帰り・宿泊全てにおいて前年比増加しました。

釧路管内観光客入込数



訪日外国人宿泊客数及び宿泊延日数



下期においては新型コロナウイルスの影響により、前年比 88%と 2 月以降大幅に減少となりました。

②訪日外国人宿泊客数は、148,315 人で前年比 14.4%減少 (24 千人)。宿泊客延数は 167,106 人で前年比 10.8%減少となりました。国別の宿泊延数では台湾が 35.3%、中国が 23.5%、香港が 9.7%となっています。

根釧の経済概況（令和2年3月末基準）：根室管内

水産：根室管内水揚量は23千tで前年同期比13.7%減少。金額は58億円で同26.1%減少。

①根室管内総水揚高(各年1～3月)

	根室市		根室管内3町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R 2	6,347	2,104	17,451	3,735	23,798	▲13.7%	5,839	▲26.1%
H31	7,393	2,584	20,171	5,320	27,564	▲3.5%	7,904	前年並
H30	6,274	2,463	22,292	5,442	28,566	+16.9%	7,906	▲2.1%
H29	6,535	2,472	17,910	5,603	24,466	▲21.0%	8,075	▲26.9%
H28	5,841	2,540	25,104	8,499	30,945	+8.5%	11,039	+21.7%

②スケソウダラ漁（羅臼 各年1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R 2	1,126	▲40.1%	198	176
H31	1,881	▲14.6%	283	150
H30	2,202	+21.3%	449	203

- ・羅臼スケソウダラは、数量1,126tで前年比減少。単価は上昇せず数量、金額ともに減少。数量・金額ともに平成以降最低となる。
- ・ホタテ漁は数量12,024tで前年同期比17.4%減少、単価は下がり金額も大幅に減少。

③ホタテ漁（野付・標津 各年1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R 2	12,024	▲17.4%	2,558	213
H31	14,560	▲10.3%	3,946	271
H30	16,238	+20.7%	3,874	239

④コマイ漁（野付・標津 各年1～3月）

	数量(t)	金額(百万円)	単価(円/kg)
R 2	58	4	69
H31	139	11	76

酪農：根室管内生乳生産は、135万tで前年比2.5%増加。

根室管内生乳生産量（各年4～3月）

年度別	数量 (t)	前年比
R 1	1,352,575	+2.5%
H30	1,319,645	▲0.1%
H29	1,321,174	+0.2%
H28	1,318,382	▲0.2%

地区別	数量 (t)	前年比
全道	3,926,182	+2.5%
十勝	1,229,273	+3.8%
北網	578,165	+1.5%
根室	819,456	+3.4%
釧路	533,119	+1.1%

生乳生産(R1年度) ※生乳生産量はホクレン調べ

- ・令和1年度根室・釧路管内生乳生産量は1,352千tと前年比2.5%増加。良質な粗飼料、クラスター事業による規模拡大に加え、乳牛資源の回復も増産に寄与し前年比増加となる。
- ・地区別では、道東地区の全てで前年比増加、根室管内や十勝地区においては増加量が前年比3%台となり、全道の増加にも寄与する。
- ・生産は堅調な一方で、4月以降については新型コロナウイルス感染症の影響から休校等による給食需要の減少や飲食店需要が減少。飲用向けを加工向けに振り向ける動きが強まっており、今後の需給動向に注視する必要がある。

○R1年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

R1年	10月 +3.2%	11月 +2.7%	12月 +3.6%
R2年	1月 +3.9%	2月 +8.0%	3月 +3.6%

家畜取引：R1年度の根室市場は取引頭数増加するも、金額は前年比減少。

□根室市場取引高

	取扱頭数 (頭)	前年比	金額 (百万円)	前年比	単価 (千円)
R 1	38,578	+2.0%	11,514	▲8.4%	298
H30	37,831	+0.5%	12,567	+8.1%	332
H29	37,656	▲5.7%	11,624	▲2.9%	309

□別海市場取引高

	取引頭数 (頭)	金額 (百万円)
R 1	8,493	1,659
H30	8,655	2,043
前年比	▲1.9%	▲18.8%

□種類別価格(根室市場)

	R1年/10月	11月	12月	R2年/1月	2月	3月
初生ホルスタイン社 (単位：千円)	74.8	77.5	87.8	72.9	97.2	114
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	167.9	166.6	169.0	174.4	196.2	188.5

貿易：輸出入ともに前年同期比増加。

(R2年1～3月貿易実績・根室税関支署発表・()内前年同期比)

- 【総 額】 27億74百万円(+7.5%)・・・外国貿易船の入港隻数134隻(前年同期比+19.6%)
- 【輸 出】 15百万円(+2.6倍)・・・冷凍魚介類 11.7百万円(+96.9%) 輸送用機器 全減
- 【輸 入】 27億59百万円(+7.2%)・・・生鮮魚介類26億5百万円 (+7.9%)、冷凍魚介類 1億50百万円 (+1.9%)
 - ・輸出・・・輸送用機器、一般機械は輸出実績ないものの、冷凍魚介類が増加し前年同期比増加。
 - ・輸入・・・生鮮魚介類、冷凍魚介類ともに前年同期比増加。

根釧の経済概況（令和元年3月末基準）：釧路地区

■◎釧路港は前年同期比数量大幅増加も、金額は同減少。厚岸港は数量・金額ともに前年実績を下回る。

① 釧路港総水揚げ(各年1～3月、前年比・%)

	全体			
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R2	15,823	+67.8%	1,099	▲0.2%
H31	9,429	▲12.7%	1,101	▲13.9%
H30	10,800	▲35.9%	1,280	▲30.1%
H29	16,850	+13.0%	1,830	+24.6%
H28	14,910	▲14.3%	1,468	▲20.1%

	うち、スケソ				単価(円/kg)
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	
	13,308	+97.2%	695	+18.6%	52
	6,747	▲20.2%	586	▲6.7%	87
	8,451	▲35.9%	628	▲23.4%	74
	13,189	+5.2%	820	+1.2%	62
	12,538	▲14.6%	810	▲17.1%	63

② 釧路港魚種別水揚げ(H31年1～3月)

魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケソ	13,308	+97.2%	695	+18.6%
マダラ	2,213	+0.6%	314	▲15.4%
ホッケ	35	+29.6%	1	▲88.2%
イカ	18	+28.6%	4	+71.1%
カレイ類	89	▲56.8%	20	▲49.6%
赤物	10	▲16.7%	17	▲28.7%
その他	150	▲32.7%	46	▲27.9%

③ 厚岸港水揚げ(各年1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R2	1,193	▲7.5%	520	▲3.3%
H31	1,289	+19.1%	538	+2.3%

④ 厚岸港魚種別水揚げ(H31年1～3月)

魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
あさり	235	+29.3%	131	+33.0%
かき	162	▲2.3%	148	+10.5%
つぶ	5	▲51.4%	6	▲63.1%

【釧路港水揚げ】

- 1～3月全体の水揚げは、数量15,823tで前年同期比67.8%増加、金額は10億99百万円で同0.2%減少。主力のスケソウは水揚げが大幅増加、マダラも前年比増加し総体の水揚げ量も増加。金額はスケソが前年を上回るものの、マダラや他魚種のコスト減少に伴い総体の金額も微減。
- 魚種別にみると、過去2年間減少傾向にあったスケソは数量13.3千tとH29年の水準まで回復し、大幅増加。単価は下落するも数量が上回り金額も同増加。
- マダラは数量2.2千tで前年同期比0.6%の増加。

【厚岸港水揚げ】

- 1～3月全体の水揚げは、数量1,193tで前年同期比7.5%の減少。金額は520百万円で同3.3%減少。
- 魚種別でみると、あさは数量235tで前年同期比増加、金額131百万円で同増加。
- かきは数量162tと前年同期比減少するも、金額148百万円で同増加。

製紙：令和1年度生産量は市内2工場で606千tと前年比14.4%減少

需給及び操業環境

- 釧路市内2工場における第4四半期の生産量は、合計で153千t、前年同期比17.1%減少。用途別でみると、新聞用紙は29千tで前年同期比41.3%減少、印刷用紙は12.4千tで同22.7%減少、段ボール原紙は98千tで同0.1%増加、産業用紙は国内が3.6千tで同62.1%減少、国外は4.8千tで同13.4%の減少。
- 令和1年度の前年比生産量合計では606千t、前年比14.4%減少。用途別でみると、新聞用紙は116千tで前年比37.3%減少、印刷用紙は48千tで同27.5%減少、段ボール原紙は378千tで同0.2%減少、産業用紙は国内29千tで32.2%減少、国外は17千tで同2.3%増加。新聞用紙の生産ライン減少により生産量は減少。段ボール原紙も微減となり総体も前年比減少。

観光：令和1年度の観光客入込み総数は1,191千人で前年比▲5.6%。

令和1年度 主な観光スポットでの観光客入込み動向

- 航空(道外) 270千人(前年比▲4.3%)。阿寒湖遊覧船 106千人(同▲4.7%)。MOO 651千人(同▲8.2%)。湿原展望台 88千人(同+8.8%)。丹頂鶴自然公園 73千人(同▲1.7%)。

貿易：輸出入ともに前年同期比減少。

(R2年1～3月貿易実績・釧路税関支署発表・)内前年同期比

【総額】 206億37百万円(▲9.1%)・・・釧路港外国貿易船入港数隻84隻(前年同期比+1隻、+1.2%)

【輸出】 22億73百万円(▲22.9%)・・・魚介類、鉄鋼くず、紙類等の減少により前年同期比減少する。
・魚介類4億8百万円(▲17.2%) ・紙類・同製品 8億66百万円(▲14.2%)

【輸入】 183億63百万円(▲7.1%)・・・飼料、肥料は前年同期比増加するも、とうもろこし、石炭等の減少により総体も減少。

- 魚介類 5億46百万円(▲19.1%)
- とうもろこし45億19百万円(▲2.8%) ・飼料39億29百万円(+10.3%)
- 石炭19億82百万円(▲38.9%) ・肥料43億77百万円(+18.4%)

全国・全道の経済概況（令和2年3月末基準）

住宅着工戸数

全国

■ R1年度4～3月は883千戸で前年比7.3%減少。利用別内訳をみると、全ての項目で前年比減少。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R2年 3月		70,729	▲7.6%
R2年 2月		63,105	▲12.3%
R2年 1月		60,341	▲10.1%
R1年 12月		72,174	▲7.9%
R1年 11月		73,523	▲12.7%
R1年 10月		77,123	▲7.4%
R1年度4～3月計		883,687	▲7.3%
内訳			
持家		▲1.5%	貸家 ▲14.2%
給与		▲23.2%	分譲 ▲2.8%

■ R1年度は15兆9,670億円で前年比7.7%の増加。工事請負契約額は月別にみると、R1年度下期は1月を除きすべて前年同期比増加。

月別		工事請負契約額(億円)	前年比
R2年 3月		25,082	+8.0%
R2年 2月		11,628	+13.0%
R2年 1月		8,738	▲19.4%
R1年 12月		11,060	+3.0%
R1年 11月		10,970	+7.2%
R1年 10月		13,347	+2.1%
R1年度		159,670	+7.7%
H30年度		148,301	▲3.2%
H29年度		153,275	▲1.8%

公共工事請負高

■ R1年度4～3月倒産件数は8,480件と前年比増加。負債総額は1兆2,187億円と同減少。

年度	月別推移		(金額単位：億円)	
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R1年度	8,480	+5.3%	12,187	▲21.6%
H30年度	8,057	▲2.8%	15,548	▲40.0%
H29年度	8,285	+1.6%	25,932	+33.2%
H28年度	8,153	▲3.0%	19,465	+2.1%
H27年度	8,408	▲7.0%	19,063	+1.0%
H26年度	9,044	▲10.5%	18,870	▲31.3%

企業倒産動向

■ R1年上期の延宿泊客数は52,039千人で前年同期比6.4%増加。R1年国籍別では前年同様、中国が最も多く、次いで台湾、韓国、香港、アメリカと続く。

OR1年度	上期月別推移		OR1年(1～12月) 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	6,920	+1.7%	中国	26,887	30%
8月	8,315	▲1.7%	台湾	12,371	14%
7月	9,579	+5.1%	韓国	8,950	10%
6月	8,549	+9.3%	香港	6,399	7%
5月	8,618	+10.4%	アメリカ	6,376	7%
4月	10,055	+13.3%	タイ	3,380	4%
上期計	52,039	+6.4%	オーストラリア	2,694	3%
○年別推移(1～12月)			シンガポール	2,205	2%
30年	94,275	+18.3%	その他	21,445	24%
29年	79,690	+14.8%	年合計	90,707	100%

観光客入込動向

全道

■ R1年度4～3月は32,486戸で前年比9.2%減少。利用別内訳をみると、持家、分譲は増加するも貸家、給与は前年比減少。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R2年 3月		2,352	▲3.7%
R2年 2月		1,739	+11.4%
R2年 1月		1,241	▲15.3%
R1年 12月		2,429	▲6.0%
R1年 11月		2,573	▲19.1%
R1年 10月		2,629	▲31.6%
R1年度4～3月計		32,486	▲9.2%
内訳			
持家		+0.7%	貸家 ▲20.0%
給与		▲20.5%	分譲 +15.7%

■ R1年度は1兆77億円で前年比9.6%増加。発注機関別にみると、国、道内市町村、道では前年実績を上回る。

年度別		前払保証請負額(百万円)	前年比
R1年度		1,007,728	+9.6%
H30年度		919,642	▲2.3%
H29年度		941,353	▲1.2%

発注機関別 (R1年度4-3月計)		前払保証請負額(百万円)	前年比
国		324,618	+23.0%
道内市町村		262,275	+8.4%
道		259,417	+4.9%
独立行政法人等		67,542	▲1.7%
地方公社		2,506	+21.7%

■ R1年度4～3月倒産件数は201件で前年比5.6%減少。負債額は、総額328億96百万円と前年比増加。

年度	月別推移		(金額単位：百万円)	
	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R1年度	201	▲5.6%	32,896	+52.2%
H30年度	213	▲16.5%	21,690	▲70.0%
H29年度	255	▲4.9%	72,064	2.1倍
H28年度	268	+5.1%	33,673	▲57.4%
H27年度	255	▲7.3%	79,053	+38.3%
H26年度	275	▲7.7%	57,151	▲89.9%

■ R1年度上期の延宿泊客数は3,636千人と前年同期比4.5%増加。国籍別に見ると、台湾、中国で4割以上を占めており、次いで韓国、香港と続く。

OR1年上期 国籍別					
R1	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
上期計	3,636	+4.5%	台湾	846	23%
			中国	861	24%
○年別別推移(4～3月)			韓国	694	19%
30年	8,443	+11.5%	香港	317	9%
29年	7,521	+19.2%	タイ	186	5%
28年	6,351	+3.1%	シンガポール	152	4%
27年	6,163	+31.1%	マレーシア	100	3%
26年	4,701	+27.5%	アメリカ	97	3%
25年	3,050	+51.6%	その他	383	11%
			上期合計	3,636	100%

根釧の経済概況（令和2年3月末基準）

住
宅
着
工
戸
数

根室

■ R1年度4～3月は58戸で前年比1戸、1.8%の増加。利用別内訳をみると、持家が増加するも貸家が同減少。

□ 根室市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R1年度	4-3月計	58	+1	+1.8%
R2年	3月	2	+2	全増
R2年	2月	5	+5	全増
R2年	1月	6	+4	3.0倍
R1年	12月	2	▲12	▲85.7%
R1年	11月	4	+1	+33.3%

		年別・利用別					
		持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R1年度	4～3月	38	20	0	0	58	+1
30年度	4～3月	35	21	1	0	57	▲16
29年度	4～3月	60	11	2	0	73	+23

公
共
工
事
請
負
高

■ R1年度は299億12百万円で前年比23.6%の増加。工事種類別で見ると、主要となる一般土木は同増加、建築、舗装等の工事も同増加。

年別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R1年度	29,912	+23.6%
H30年度	24,204	▲6.5%
H29年度	25,879	▲21.7%

工事種類別 (R1年度4-3月計)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	16,575	+8.7%
舗装	1,818	+42.5%
建築	5,407	+53.5%
電気	2,595	+4.6倍
管	999	+56.1%

■ R1年度4～3月根室管内倒産件数は2件、負債総額2億13百万円と件数は前年比減少するも金額は増加。うち根室市は件数1件、負債総額1億15百万円と負債金額は前年を上回る。

年度別推移	【根室管内】		【うち、根室市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R1年度	2	213	1	115
H30年度	4	166	1	42
H29年度	11	6,791	5	4,239
H28年度	4	590	2	106
H27年度	6	1,444	1	370
H26年度	5	641	3	523

■ R1年度上期の延宿泊客数は、4,659人で前年同期比19.3%減少。国籍別にみると、中国が22%と最も多く、次いで香港、台湾と続く。

OR1年度	上期月別推移	OR1年度上期 国籍別			
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	609	▲21.1%	中国	1,017	22%
8月	940	▲26.5%	香港	638	14%
7月	1,240	▲16.8%	台湾	978	21%
6月	939	▲17.0%	ロシア	380	8%
5月	636	▲24.6%	アメリカ	274	6%
4月	295	+13.9%	韓国	238	5%
上期計	4,659	▲19.3%	オーストラリア	153	3%
○年別推移 (4～3月)			イギリス	124	3%
30年	11,290	+5.4%	その他	857	18%
29年	10,713	+12.3%	上期合計	4,659	100%

企
業
倒
産
動
向

観
光
客
入
込
動
向

釧路

■ R1年度4～3月は721戸で前年比40戸、5.3%の減少。利用別内訳をみると分譲は増加するもその他は減少。

□ 釧路市住宅着工戸数

		月別		
		戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R1年度	4-3月計	721	▲40	▲5.3%
R2年	3月	51	+14	+37.8%
R2年	2月	37	+10	+37.0%
R2年	1月	38	▲1	▲2.6%
R1年	12月	47	+4	+9.3%
R1年	11月	90	▲37	▲29.1%

		年別・利用別					
		持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比
R1年度	4～3月	343	312	2	64	721	▲40
30年度	4～3月	355	349	14	43	761	▲407
29年度	4～3月	353	548	84	183	1,168	+287

■ R1年度は469億81百万円で前年比4.8%の増加。主要工事である一般土木は同6.3%増加、建築は同9.0%増加。

年別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R1年度	46,981	+4.8%
H30年度	44,844	+14.1%
H29年度	39,282	▲20.2%

工事種類別 (R1年度4-3月計)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	23,968	+6.3%
舗装	1,946	▲39.0%
建築	11,769	+9.0%
電気	2,752	+37.9%
管	1,048	▲32.4%

■ R1年度4～3月釧路管内倒産件数は12件と前年並み、負債総額は15億24百万円と大幅増加。うち釧路市は件数8件、負債総額8億50百万円と件数は減少するも、負債金額は増加。

年度別推移	【釧路管内】		【うち、釧路市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R1年度	12	1,524	8	850
H30年度	12	631	9	562
H29年度	20	2,010	17	1,862
H28年度	21	2,072	13	956
H27年度	19	4,671	12	3,546
H26年度	22	4,472	17	3,549

■ R1年度上期の延宿泊客数は、80,490人で前年同期比2.3%増加。国籍別にみると、台湾が36%と最も多く、次いで中国、香港と続く。

OR1年度	上期月別推移	OR1年度上期 国籍別			
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	11,283	+13.6%	台湾	29,137	36%
8月	15,236	▲1.4%	中国	15,464	19%
7月	17,466	▲7.0%	香港	8,264	10%
6月	14,010	+10.1%	シンガポール	5,503	7%
5月	17,252	+1.0%	韓国	5,522	7%
4月	5,693	+10.5%	マレーシア	2,360	3%
上期計	80,940	+2.3%	アメリカ	2,304	3%
○年別推移 (4～3月)			タイ	1,128	1%
30年	187,399	+2.1%	その他	11,258	14%
29年	183,596	+18.7%	上期合計	80,940	100%



2020.06

MIRAI REPORT ISSUE.003

 **大地みらい**信用金庫 地域みらい創造センター